

# 議会だより

# つるい



## TOPICS

令和3年度予算は61億円 . . . . . P2

3月定例会の中身は? . . . . . P10

6議員が村政を問う! 一般質問 . . . . . P12



鶴居村マスコットキャラクター  
「つるぼー」

# 骨格予算だった前年度に比べて14億円増(38%増)の予算 新総合体育館建設に10億円



## 予算の概要

### 令和3年度一般会計予算の主な事業

- ①新総合体育館建設事業 ..... 10億8681万円
- ②保育園・小中学校給食費無償化事業 ..... 1910万円
- ③鶴居中学校大規模改修基本設計事業 ..... 717万円
- ④ふるさと納税推進事業 ..... 4867万円
- ⑤役場庁舎・総合センター非常用発電機設置工事 ..... 6145万円
- ⑥役場庁舎・総合センター機能改善事業 ..... 1711万円
- ⑦空家等対策計画策定事業 ..... 399万円
- ⑧(仮称)村民福祉センター外構工事 ..... 2345万円
- ⑨地域公共交通会議負担金 ..... 1000万円
- ⑩「輝く住ま居る支援金」交付事業 ..... 1200万円

# 総額61億円超の予算

令和3年度の一般会計当初予算案は総額で51億9000万円となり、前年より14億5400万円の増額となった。

一般会計と6特別会計を合わせた総額は61億970万円となり、前年より15億610万円の増額となっている。

新年度は、保育園と小中学校の給食費無償化や新総合体育館建設工事、役場庁舎・総合センター機能改善基本・実施計画委託などを計上

し、普通建設事業費(ハード)が19億7743万円となり、投資的経費の割合が38.1%となった。

地方交付税は特別交付税を含めた総体では、前年より4.0%増の19億7625万円とした。

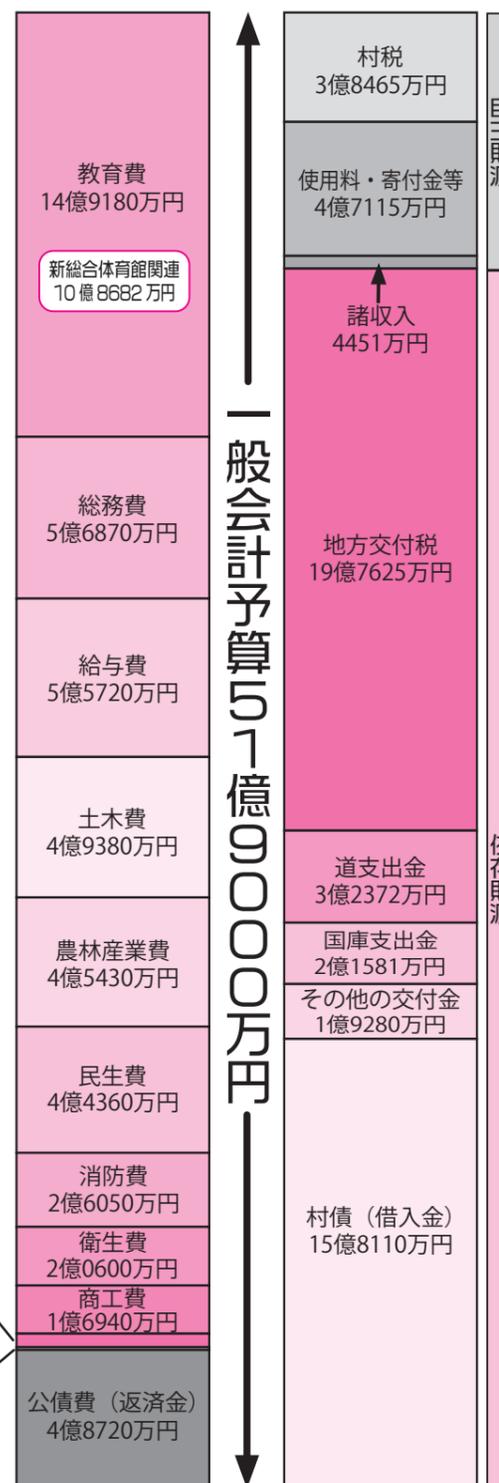
村税は農家所得が堅調であるが、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、前年より1.2%の増とした。

また、財源不足については、起債の借入や基金繰入により賄うこととした。

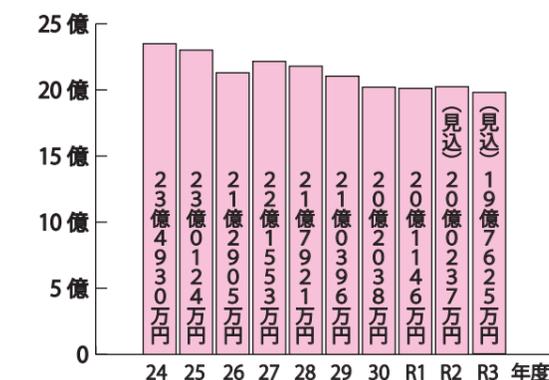
### 令和3年度各会計予算

会計別	R3 予算	R2 予算	増 減	議決の内容
一般会計	51億9000万円	37億3600万円	▲14億5400万円	全員賛成により可決
水道特別会計	9420万円	5150万円	▲4270万円	全員賛成により可決
農業集落排水特別会計	5660万円	5610万円	▲50万円	全員賛成により可決
国民健康保険特別会計	3億6040万円	3億8890万円	▲2850万円	全員賛成により可決
診療所特別会計	8340万円	8500万円	▲160万円	全員賛成により可決
介護保険特別会計	2億8100万円	2億4200万円	▲3900万円	全員賛成により可決
後期高齢者医療特別会計	4410万円	4410万円	0万円	全員賛成により可決
合計	61億0970万円	46億0360万円	▲15億0610万円	

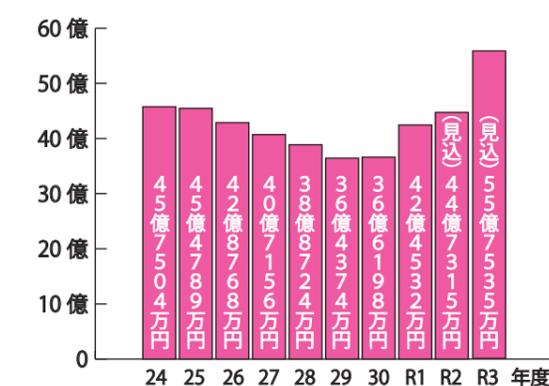
### 歳出 歳入



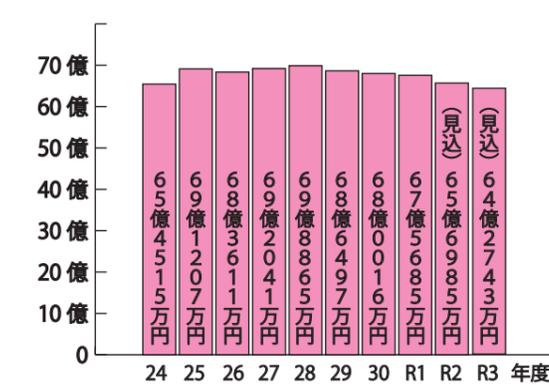
### ▶ 地方交付税の推移



### ▶ 借入金の推移(一般会計)



### ▶ 基金残高(貯金)の推移(特別会計含む)



# 新年度予算で議員が注目した事業は？ 予算委員会では7委員が93の質問をしました！

予算委員会 3月12～16日

## ▽基幹産業酪農への支援を

松井俊治委員

令和3年度一般会計および特別会計の各会計予算案は、議長を除く8議員で構成される予算特別委員会を設置し、これに付託し審査を行いました。  
事業内容や事業効率・効果などについて活発な質疑を行い、議案ごとに討論・採決を行った結果、全ての議案を「可決すべきもの」と決定しました。

▽委員長 松井洋和

▽副委員長 及川満浩



村税は堅調な酪農経営の推移により増収傾向にあり、固定資産税もクラスター事業などの大型投資により増加傾向となっている。  
村も基幹産業である酪農には、乳質奨励金、中山間直接支払いなどの支援に努められている。  
しかし、コロナの影響でプール乳価が下がり、春からの配合価格の高騰もあり、今後の酪農経営の推移が心配されるため、他産業も大変な時代はあるが、今後とも基幹産業への支援をお願いしたい。

村長

基幹産業である酪農は地域を支えているし、現在の上向きな酪農経営が村税の収入増にも反映されている。  
酪楽館の増築により、生乳使用料の増加も予想され、財政状況の推移にもよるがJAとも連携しながら、新規就農や担い手の確保も含め、酪農経営が後退することがないように、しっかりと支援していきたい。

## ▽幌呂に加工体験施設

473万円

松井俊治委員

幌呂地域に加工体験施設を建設するが、具体的な建設計画は。

住民生活課長

建物の広さは約31坪で、改善センターの南側に

に建設し廊下で繋ぐ。  
令和4年に工事を着工し、令和5年からの使用を予定しており、今年度は調査設計を行い、地元の方々から意見を伺いながら中身を精査する。

## ▽障がい児通所等給付費

827万円

松井俊治委員

障がい児通所等給付費の内容は。

保健福祉課長補佐

現在、児童発達支援の子どもと、放課後デイサービスの子ども12名を対象に、通所にかかる費用を支援している。  
「NPO法人ソレゾレ」が4月からオープンするので、ここに通う児童も対象になる。

## ▽災害用備品購入費

68万円

東 隆行委員

災害用備蓄品の更新時期は。

総務課長

備蓄品には食料と飲用水があり、5年から10年が賞味期限となっており、毎年計画的に更新している。

## ▽役場職員作業着購入

139万円

東 隆行委員

役場職員の作業着を78着購入する予定だが、何年間で更新するのか。

総務課長

更新サイクルの定めは特になく、前回は平成24年に42着更新している。  
今回は女性の制服も更新する。

## ▽診療所待合室案内スピーカーの音量

東 隆行委員

診療所待合室のアナウンスが患者さんに聞こえにくい。  
スピーカーの音量を調整できないのか。

副村長

実態を把握し、スピーカー修理などの対応をしたい。

## ▽釧路湿原で熱気球イベント開催

152万円

佐藤吉人委員

熱気球イベントを開催するが、気象条件やコストなど難しい問題もあると思う。

産業振興課長補佐

湿原ウオーク前に気球イベントを行う予定をしている。  
気球に乗れる人数も20人程度なので、コストがかからない様に継続したい。



湿原を上から見下ろせる熱気球

予算委員会 3月12～16日

## ▽簡易軌道 デジタルアーカイブ作成

132万円



佐藤吉人委員

簡易軌道のデジタルアーカイブ制作の具体的な内容は、

※デジタルアーカイブとは、博物館・美術館・図書館の収蔵品や有形・無形の文化資源などをデジタル化して記録保存を行うこと。

教育課長補佐

村には簡易軌道の資料が足りない。

元運転手などに聞いた話を資料として残し、村民にも見てもらいながら展示保存していきたい。



北海道遺産の簡易軌道の歴史をデジタル保存

## ▽下雪裡

### コスモス畑管理

70万円



佐藤吉人委員

ファームイン鶴居コスモス畑の管理とは、

産業振興課長補佐

今年は新しく種を購入し、綺麗な花が咲くように管理していく。



村の花コスモス

## ▽小学校に 体育専科教員を配置

教育長



及川満浩委員

小学校に体育専門の教員を置いているが、その役割とは。

3年間、鶴居小学校に配置している体育専科教員が村内の小学校を巡回し、体育の授業の見本を見せることで教員の体育指導力向上をはかっている。

## ▽空き家などの

### 対策計画策定事業

399万円



及川満浩委員

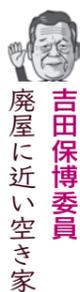
空き家対策の計画をつくるには、現状の課題について認識が必要なのは。

企画財政課長

現在の空き家の調査を進める。

今後は高齢化が進み、空き家が増えると想像しており、利活用はもちろんだが、家を処分する場合の負担の一部を支援するなどの制度も検討していきたい。

また、将来の市街地の景観形成、あり方についても議論していきたい。



吉田保博委員

廃屋に近い空き家が問題である。

土地ごと村に寄付してもらっては。

企画財政課長

寄付については一つの可能性としてとらえるが、一定のルール作りが必要である。

## ▽幌呂にバーベキュー ハウスを建設

464万円



吉田保博委員

幌呂地域コミュニティ活動施設の工事は。

住民生活課長

約50㎡の広さで30人くらいが利用可能な施設を建設する。バーベキューコンロも設置する予定。



幌呂生活改善センター横にバーベキューハウスを建設

## ▽不登校

### 児童生徒への対応は

教育長



及川満浩委員

不登校問題は児童生徒へのケアがとて難しい。

保健室登校などがあるが、そういう生徒への今後の対応は。

不登校の生徒は村内にも複数名いる。その理由は個人個人で異なり、学校に起因しない例もあり、精神的にも身体的にもつらく学校に通いづらいのが実態である。

保健室に通うのも一つのステップであり、他の方法も模索しながら対応している。

## ▽役場庁舎・総合センター 機能改善設計委託

1711万円



吉田保博委員

役場庁舎の機能改善基本実施設計の内容とは。

総務課長

建設から34年経過している庁舎の改善を予定している。

村民相談室の設置、出納室前のホール拡大、来客用の待合室、物品庫の改修、バリアフリー化とエレベーターの設置も検討している。その他に庁舎の空調と電気設備、外壁の改修も予定している。



車椅子でも2階へ上れるようにエレベーターの設置を検討

# 新年度予算で議員が注目した事業は？

## 予算委員会では7委員が93の質問をしました！

### ▽ 職員のストレスチェックは



大津泰則委員

職員のストレスチェックを毎年行っているが、受診率が50%を切っているため、これを超える工夫が必要である。

村長

令和3年度は大型予算で、新総合体育館などのハード事業、コロナ関係のソフト事業など50億円を超える予算を執行する職員には相当のストレスがかかっていると思う。ストレス診断をより浸透させていき、職場の環境も整えながら職場の中でサポート出来るように組合の意見も取り入れ改善し、同時に庁舎の組織体制の見直しも進めていきたい。

### ▽ 新型コロナウイルス ワクチン接種事業

1739万円



大津泰則委員

コロナワクチンの集団接種を受けられなかった人が後で接種を希望した場合、診療所に対応するのか。

保健福祉課長補佐

診療所での個別接種は考えていない。都合により受けられなかった人たちには集団接種の機会を設け、総合センターで行う予定をしている。

### ▽ 運動広場リニューアル構想 策定支援委託

224万円



大津泰則委員

運動広場をリニューアルする予定だが、遊具の更新だけでなく、全体的な見直しも含めて考えてはどうか。

産業振興課長補佐

運動広場の活性化と遊休地の活用を進め、将来的な観光振興ビジョンを持って、道の駅構想を含めて考える。

### ▽ 鶴居中学校大規模改修 基本計画策定

717万円



秋里広志委員

鶴居中学校を大規模改修する予定だが、その内容は。

教育長

校舎と体育館の大規模な改修を予定している。工期も長期間になるので、グラウンドに仮設校舎を設置する予定。



建て替える鶴居中学校

### ▽ 学校の統廃合も 今後考える必要が



秋里広志委員

鶴居中学校を大規模改修する計画をしているが、鶴居中学校の生徒数は令和3年度の76名から、令和8年度には38名となり年々減少していく見通しとなっている。

村長

鶴居中学校の校舎は築40年を超え、長寿命化、持続可能な利用を目指すための大規模改修であり、中学校の統廃合とは切り離して考えている。この10年で生徒数は減少していくため、危機感を持っていく。生徒数は教職員の数にも影響してくるので、教育委員会と情報を共有していきたい。

一方、幌呂中学校も生徒数は年々減少しているが、今後は中学校の統合も考えていかなければならないと思っている。学校の問題については地域に丁寧な説明が必要になってくるが、村長の考えは。

### ▽ 役場にエレベーター



秋里広志委員

役場庁舎にエレベーターの設置を検討しているが、大きさはどれくらいか。

総務課長

11人乗りを検討している。間口も広くして、車椅子の方にも対応できるように考えている。

# 定例会 主な内容

## 3月定例会 のあらまし



松井広道議長

第1回定例会は3月10日に開会し、17日に閉会しました。

村長からの提出議案は31件で、内訳は専決処分1件、条例案件16件、補正予算7件、新年度予算7件です。議員発議は意見書1件です。すべての議案が原案通り可決されました。一般質問では、6議員が9項目の質問で村政を問いました。

## ▽新型コロナウイルススワクチン 医療従事者用の範囲は

68万円



及川満浩議員

医療従事者用のワクチンを150人分の予算を計上しているが、医療従事者とはどこまで含まれるのか。



保健福祉課長補佐

新型コロナウイルス感染症患者と接する可能性のある医師、看護師、医療事務職員など、診療所やつるい養生邑病院、歯科診療所、救急隊員も含む。

## ▽ヒートポンプにより 子どもセンターの光熱費が減額

▲686万円



松井俊治議員

子どもセンターの燃料費と光熱費が当初の予算より大幅減額となったが、地下熱を利用したヒートポンプの効果はどう考えているのか。



むらぐり推進室長

地中熱ヒートポンプは環境省の補助金を使っているため、国に毎年効果を報告することになっている。また、年度途中であるため、新年度になってから改めて効果を報告したい。

## 令和2年度各会計補正予算

会計別	補正額	総額	議決の内容
一般会計	▲9908万3千円	51億5531万8千円	全員賛成により可決
水道特別会計	▲381万4千円	6698万8千円	全員賛成により可決
農業集落排水事業特別会計	▲101万0千円	5844万5千円	全員賛成により可決
国民健康保険特別会計	▲2519万0千円	3億7054万1千円	全員賛成により可決
診療所特別会計	▲777万5千円	7961万9千円	全員賛成により可決
介護保険特別会計	▲2070万5千円	2億8526万3千円	全員賛成により可決
後期高齢者医療特別会計	▲165万0千円	4446万2千円	全員賛成により可決

## ▽「支えあおう・鶴居びと」宣言事業のこれから



松井洋和議員

新型コロナウイルス感染症が日本でも大流行し、村民がこの先どうなっていくのか不安を抱えるなか、この宣言を行い、きめ細やかな事業を素早く展開したことは本村のコロナ対策の象徴として高く評価されます。今後の取り扱い。



村長

支え合いながらこの難局を乗り越えて行こうとの思いで昨年の3月定例会で宣言した。この宣言の骨子は様々な日々の生活にもつながるものであり、コロナ終息後も新たな視点で継続するものと考えている。



大津泰則議員

この宣言はコロナを克服し新しいまちづくりをしていくことを村民の胸に深く刻んだ素晴らしいものと思っている。これからこの宣言を村民と一体感を持って進めて貰いたいと思っている。



村長

私自身もこの宣言は心にしみるもので、この宣言があつて様々な取り組みを行えたと思っっている。今後も何らかの形で続けたいと考えているので、時期を見ながら次の展開を検討したい。

## ▽村税が増収

1900万円



吉田保博議員

今年度も村税が増収となっている。村民税の個人は農家所得が好調であり、村民税の法人も業績が好調で伸びている。そこで、今後の推移についてどのように考えているか。



企画財政課長補佐

令和2年度の村税は、コロナの影響がない元年の収入が基準となっている。新年度はコロナの影響が反映されてくるので、現状維持か少し減収するかと考えている。

## 『支えあおう・鶴居びと』宣言

新型コロナウイルス感染症が、国内をはじめ世界的な広がりを見せており、本村住民への不安がつのり、地域経済にも甚大な影響をもたらすなど、未曾有の危機的状況におかれています。

北海道の「緊急事態宣言」を受け、不要不急の外出自粛や小中学校の休校などにより、地域の元気も失いかけています。今こそ世代や地域、立場を超えて共に支えあい、一刻も早く、現状の終息を見なければなりません。

よって鶴居村は、村民一丸となって次の活動を推進し、元気に満ちた、笑顔あふれるむらづくりを宣言します。

- 一、村民一人一人が更なる健康増進に努め、落ち着いた行動の下で、新型コロナウイルス感染症拡大の防止に努めます。
- 一、村民の消費行動を促し、危機感が増す地域経済の一刻も早い回復を支援します。
- 一、村民一丸となり、安心・安全な暮らしの環境を維持し、元気に満ちた、笑顔あふれるむらづくりを推進します。

令和2年3月16日 鶴居村

## ▽私立幼稚園負担金

18万円



秋里広志議員

村外の幼稚園に通園している児童分の負担金を増額補正しているが、その状況と人数は。



保健福祉課長補佐

保護者が釧路市内に勤めており、市内の幼稚園に2人通園している。



6人の議員が9項目の質問

# 村政のことが聞きたい

<b>松井 洋和 議員</b>	P13
①鶴居市街での宅地分譲は	
<b>佐藤 吉人 議員</b>	P14
①「村づくり塾」とは	
②日本製紙操業停止の影響は	
<b>秋里 広志 議員</b>	P15
①集落を守る住環境の整備を	
<b>吉田 保博 議員</b>	P16
①営農用水断水時の対策は	
②新型コロナウイルスのワクチン接種は	
<b>及川 満浩 議員</b>	P17
①太陽光発電施設と自然環境のあり方は	
②ICT教育による児童生徒の健康面への影響は	
<b>松井 俊治 議員</b>	P18
①草地改良促進事業補助金の増額を	

一般質問とは、議員が村の行財政全般にわたって、執行機関（村長・教育長）に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。  
紙面の都合により、内容を要約して掲載しています。

## 鶴居市街地での宅地分譲は

### 村長 広く村民の意見を伺い検討したい

**松井** 最近、「鶴居市街に家を建てたいが、希望に近い土地が少ない」との話を聞きます。確かに売地として宅地分譲している土地は少ないようです。市街中心部の活性化のためにも鶴居市街の土地が有効活用され、官民による宅地販売が増え、家が増え、人口が増え、子どもが増え、お店が増えて欲しいと思っていますのですが、

村政執行方針に「今後の鶴居市街地形成のあり方などを、村民の意見などを聴取しながら検討したい」と記載されています。鶴居市街地形成としての宅地分譲について村長の考えを伺います。

賃貸住宅の整備による定住の確保はある程度、推進できていると考えています。

しかし、個人住宅建設のための土地売買については、民間の不動産業者による取り扱いが少なく、特に定住や移住を希望される人が住宅建築の

ための土地取得に苦慮することがあることは一般にお聞きしています。

本村で土地を取得する場合は、一般的に土地購入希望者が所有者との間で交渉し譲渡されることが多く、村が新たに市街地内で宅地造成を行う場合には、今までの土地取引や譲渡価格に与える影響なども十分に考慮する必要があります。

また、鶴居市街の地域人口は大きく変化していませんが、少子化や高齢

化により空き家や空き店舗などが散見されるため、今後、空き家の活用や除去対策の検討も市街地形成や住宅対策として重要と考えます。

こうした状況を踏まえ、国の指針に基づき令和3年度中に「空き家等対策計画」を策定することとしています。

これら計画策定の議論や、今後に向けた鶴居市街地などの地域形成や土地の有効活用のあり方などを、村民や地域団体などの皆さんから広く意見を伺いながら、宅地の確保や市街地活性化の進め方などを検討したいと考えています。

**村長** 鶴居市街地域の整備や民間賃貸住宅建設への支援などにより、



まつい ひろかず 松井洋和 議員



鶴居市街地にも宅地分譲が必要？

**松井** 移住、定住希望者に対応できる宅地体制づくりが必要では。

**村長** 5年10年先を見据えた市街地形成を協議する。



表紙の写真

4月5日(月)に行われた幌呂小学校入学式の一コマです。

今年の入学生は2人です。体育館での入学式はマスクをしているため、教室で担任の先生との記念撮影時にマスクを外したときの写真です。少し緊張している？



さとうよしひと 議員 佐藤吉人

# 「村づくり塾」とは

## 村長 異業種による情報交流の場

**佐藤** 執行方針に、村民自らがい描く地域の未来を創造していくため、「村づくり塾」による人材の育成に努めていく、とあります。この「村づくり塾」について伺います。

村づくり塾は、異業種による情報交流の場になることも期待でき、幅広い分野の皆さんに参加していただき、形式にこだわらず自由な話し合いができる場にしたと考えています。

当面は、座学による学習会の要素が中心になると考えますが、その先には、村づくりに関する企画や提案など発展的な取り組みにつながっていくことを期待しています。



村づくりの人材育成「村づくり塾」

**日本製紙操業停止による村内事業者への影響は**

**佐藤** 操業約100年の日本製紙釧路工場が、本年8月に操業を停止することです。村内にも、同社関連の事業者があります。そこで、本村の雇用の維持や工場運営資材などに様々な影響があるので推察しますが、本村への影響などについて伺います。

特に、600人を超える社員・従業員の他地域への配置転換なども想定されるため、人口流出による地域の衰退や関連企業などへの影響が懸念されます。

本村に置く関連事業者の影響や今後の対応策については、釧路工場の撤退表明後、早々に関連事業者代表などから状況を確認させていただき、その後も事業者の対応などを伺っています。

村としては、当地域で木材チップを取り扱う中核的な役割を担う事業者であるため、情報を収集しながら今後の動向を注視したいと考えています。

**村長** 1920年（大正9年）の創業開始から釧路市をはじめ、当地域の基幹産業の一翼を担いながら北海道の製紙事業をけん引し、道東地域の経済などを支えてきた大手企業だけに、事業撤退が現実のものとなれば、各方面に計り知れない影響が出るかと推察します。

# 集落を守るための住環境整備を

## 村長 議論を重ねながら方向性を探る

**秋里** 村は村有・公営住宅と住生活環境整備に努めてきました。

村政執行方針にも、移住・定住を推進し、民間賃貸住宅建設への支援などが示され、需要に応じるとされています。

一方、地方の集落では、自然環境やそこに住む人の姿、あるいはインターネット環境などから、移住を考えている人が少ない。

からず訪れますが、住環境が整っておらず、希望が叶わない実態があります。

集落の人口は年々減ってきており、集落を守りにぎわいと活性化を取り戻すために地方にも住環境の整備が必要と考えますが、村長に伺います。

**村長** 人口減少や高齢化が進むなか、集落の生活環境や地

域基盤の整備は、今後必要不可欠なものです。

特に、持続可能な地域の将来を考えていくうえで、地域内人口の推移やコミュニティ機能の確保は重要であり、地域に愛着や魅力を感じながら定住や移住などが進むことを願っています。

そして、定住移住を促進するうえで最も考えるべきことは、安心して暮

らせる住環境の確保と言えます。

これまで村が整備してきた公営住宅や村有住宅は、住宅に困窮する低所得者や、村内に勤務先を有する人などが入居され、就業者や定住人口の確保が一定程度図られてきたと考えますが、多くの集落では人口の減少に歯止めがかからない状況になっていきます。

そこで、住環境の整備などについては、基本的には個人の対応による持ち家や民間・個人による譲渡、賃貸などによる住宅の確保が理想と考えま

す。



集落にも住宅整備を

すが、各地域の状況から容易なことではないと認識しています。

また、村が住宅を確保していくためには、定住移住を促進させると同時に、その地域内で住宅を必要とする公的な要因なども十分に考慮する必要があります。

持続可能な地域であるためにも住環境の整備や確保は必要と考えますが、村が主体となる集落内の住宅整備については、今後、様々な角度から議論を重ねながらその方向性を探りたいと考えます。

**秋里** 例えば各集落に村職員に定住してもらおうなども考えられるのではないかと。

**村長** 一考の方策だが現状では難しいので、移住のあり方などを今後議論する。

## ご意見を議会へ

村政について意見や要望がある場合、どなたでも議会に「請願」や「陳情」として文書により提出することができます。請願書・陳情書は随時受付しています。



あきさとひろし 議員 秋里広志



やすひろ 吉田保博 議員

# 営農用水断水時の対策は

## 村長 重要課題であり早期の検討が必要

### 吉田

営農用水使用の酪農・畜産

農家には大小の牛が数十頭から数百頭飼養され、大量の水を使用している現状は周知の事実です。

営農用水を使用している農家が何戸あり、自家用水利用が何戸あるのか把握しているのでしょうか。

また、自然災害などによる営農用水断水時に、村ではどのような対応が可能なのか。今後の検討課題としてどのような対策が考えられるのかを伺います。

### 村長

営農用水や簡易水道を利用

している酪農・畜産農家戸数は79戸あり、村が把握する井戸や湧水などの自家用水利用は10戸、さらに営農用水と井戸を併用している農家は4戸ありと考えています。

断水が生じた緊急時には、早急に原因の特定に努めながら応急的な復旧工事を実施し、復旧までの間は給水車による配水で搾乳の営農作業等に支障が生じないよう対応します。

今後の課題については、酪農・畜産農家が自ら行う対策として、施設内に井戸を設置すること

が最も有効な手段と考えます。また、貯水タンクの設置などによる水の確保も一案ですが、それぞれ農家の負担が発生するため、事業者や関係団体を含めた協議が必要と考えます。

村としては、水源施設の強化や耐震管への更新のほか、配水池ごとの井戸設置なども検討材料ですが、費用対効果や管理面で慎重な議論が必要と考えます。

今後、災害時などの有事に生活用水や営農用水などのライフライン確保は重要な課題であり、早期の検討が必要と認識しています。



農家の断水対策を

# 太陽光発電施設と景観形成は

## 村長 環境審議会での議論も踏まえ検討

### 及川

村内各所で太陽光発電施設

が散見されるようになりました。

湿原などの自然環境保全、タンチョウの保護などの生物多様性の確保、景観形成としては、必ずしも好まれる傾向ではないように思われます。

そこで、太陽光発電施設の建設計画の把握実態と、村内の各所で太陽光発電施設が散見される現状について伺います。

### 村長

施設内の土地などの形状を

変えない限り、ソーラーパネルの設置は建築物に該当しないため、基本的に都市計画区域を除いて届け出の必要がありません。また、一定規模以上の土地取引で国土法の届け出が提出されない限り、太陽光発電施設の設置を事前に確認することはできない法の仕組みとなつているため、村内での建設計画は一切把握し

ていません。

村内の各所に太陽光発電施設が散見される現状については、自然エネルギーを十分に確保する太陽光発電施設が否定されるものではないと見られます。一定規模以上の地上型設置には様々な意見があるものと考えます。

豊かな自然環境や地域景観は、後世に残していかなければならない今を生きる私達の責務であり、良好な地域環境を阻害する場合には、村民の心豊かに安心した暮らしを確保するためにも何らかの対応は必要かと考えています。

村としては、次期環境基本計画の策定に向けた環境審議会での議論なども踏まえながら、今後の対応を検討したいと考えています。

# ICT教育で児童生徒の健康面への影響は

### 及川

「ICTを活用した教育を

一層推進する」と教育行政執行方針に記載されています。

タブレットを活用したICT教育は、視覚系・筋骨格系・精神性・全身など、心身の成長過程である児童生徒の健康面への配慮が必要なことについて、文科省も教育現場に求めています。

そこで、本村の取り組みについて伺います。

### 教育長

教員を対

象に行つた「児童生徒の健康面における配慮事項に関するアンケート調査結果」によると

・タブレット使用による目の疲れなどへの影響を懸念し、利用時間を調整

した。

姿勢の悪さによる影響を懸念し、授業中に適正な姿勢が保たれるよう指導した。

・ストレスや生活リズムの乱れを懸念し、「情報メディアと生活習慣」をテーマとした生徒対象の講演会を実施した。など、学校が取り組んだ配慮事項が報告されています。

教育委員会では、鶴居村教育研究所と連携し、タブレットの活用に関する教員研修などに取り組んでいるところであり、今後は、こうした児童生徒の健康面への配慮事項についても改めて周知していきます。



再生可能エネルギーの太陽光発電だが...



おいかわみちひろ 及川満浩 議員

# 新型コロナウイルスワクチン接種の進捗状況は

### 吉田

国は4月中旬

から高齢者の接種を始めたようですが、村にはどのような情報がありますか。また、村はワクチン接種をどのように実施するのか伺います。

### 村長

全国すべての

市区町村に行き渡るワクチンの配送は、大型連休前の4月26日(月)の週からの見込みとなっておりますが、市町村ごとの具体的な配送時期は示されていないため今後の対応に苦慮しているところです。

現在検討している内容は、接種する日を特定した集団接種による形態を予定しており、接種場所は総合センターを主会場とし、特に65歳以上の高

齢者を対象とする接種については、会場までの移動負担などを軽減するため、幌呂農村環境改善センターを会場とすることも検討しています。

また、実際に接種する医師や医療スタッフは、診療所長や看護師とともに、養生邑病院の協力を仰ぎながら対応します。

ワクチン接種が円滑に実施できるよう庁内の対策本部を中心に、ワクチン接種全般を取り仕切る総括班や会場班、啓発班、送迎班を設ける予定です。

ワクチン接種の開始時期などは不確定ですが、今後も国や北海道などからの情報収集に努め、適切な接種対応ができるよう配慮したいと考えています。

定例会  
議案賛否

3月定例会  
審議した議案と結果

上程議案	賛成：○ 反対：×	結果	松井俊治	東隆行	松井洋和	佐藤吉人	及川満浩	吉田保博	大津泰則	秋里広志	松井広道
専決処分											
一般会計予算（第8号）		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例の制定・一部改正											
議会議員及び村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
事務分掌条例の一部改正		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会委員会条例の一部改正		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
タンチョウと共生するむらづくり推進会議設置条例の一部改正		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般職員給与条例の一部改正		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
職員管理職手当支給条例の一部改正		賛成多数	○	○	○	○	○	○	○	○	○
職員特殊勤務手当支給条例の一部改正		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険条例の一部改正		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険条例の一部改正		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
老人医療の助成に関する条例の一部改正		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部改正		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度補正予算											
一般会計（第9号）		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水道事業特別会計（第3号）		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農業集落排水事業特別会計（第2号）		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険特別会計（第3号）		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
診療所特別会計（第3号）		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険特別会計（第3号）		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
後期高齢者医療特別会計（第2号）		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
新年度予算											
一般会計予算		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水道事業特別会計予算		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農業集落排水事業特別会計予算		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険特別会計予算		賛成多数	○	○	○	○	○	○	○	○	○
診療所特別会計予算		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険特別会計予算		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
後期高齢者医療特別会計予算		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書（国に提出）											
不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○

（注）議長は賛否を表明しません。賛否同数の場合のみ議長採決として表明します。

草地改良補助金の増額を

村長 農協と情報共有し適切に対応



まつい しゅんじ  
松井俊治 議員

**松井** 村内における生乳生産量は年々増加傾向にあり、今後、ますます良質粗飼料の確保が重要になってきます。そのため草地更新を進めていかなければならないのですが、道営草地整備事業も今年で終わり、次は令和5年からの予定となっております。2年間は実質更新事業がないため、自己更新率が高まり、農家負担が多くなると考えられます。現在の村補助金は1ヘクタールあたり5万円ですが、これをJAと同額の7万円に増額してはど

**村長** 酪農を基幹産業とする本村では、家畜の放牧や自給粗飼料の生産確保などによる草地型酪農の推進は、安定した酪農を維持する上で、極めて重要な役割を果たすものです。また、生乳生産量も、前年対比で3・4%ほどの伸びを見せ、6万7000トンを超えています。



土づくり、草づくり、牛づくりが基本

**松井** 土づくり・草づくりが基本です。草地更新は8年が基準値なので村の対応策をお願いします。

**村長** 必要性を理解しているので関係機関と協議します。

うかと考えますが、村長の考えを伺います。

酪農家の皆様は、今まで草地の更新整備を計画的に進め、生産性の向上に取り組んでいます。道営による草地整備事業は、他の自治体との計画調整の事情などから、本事業の最終年度である令和3年度をもって一旦事業を終了し、令和5年度から新たに次期対策が予定されています。このことが、安定した生産性確保の面からも草地更新の後退は避けるべきであり、狭間にあるこ

の期間の草地整備は、各農家の自力更新による需要が増加することも予想され、例年にも増して裾野の広い対応が求められると考えています。質問にある村の草地改良に関する補助基準の見直しについては、今後の草地の自力更新における費用負担が経営に与える影響や事業量の増加、基準見直しによる村の財政負担などを、様々な角度から検討すべき事案であるため、釧路丹頂農協などと情報共有を図りながら適切に対応したいと考えています。

議会だよりは要約されています。臨場感ある本会議場へお越しください。議会の傍聴お待ちしております。次回定例会は6月16日(水)10時～役場2階(予定)



鶴居村図書館

司書 幸地 眞さん



# 地域おこし協力隊員から 図書館司書になりました

鶴居村のみなさま、こんにちは！

昨年度まで鶴居村地域おこし協力隊として活動していましたが、幸地眞（こうち まこと）と申します。

昨年度は毎月、鶴居村の広報で記事を書いていました。読んでいただいた方から感想をいただく機会にも恵まれ、大変うれしく思います。

その縁あって、今回は議会広報でも記事を書かせていただけることになりました。内容は迷いましたが、今年度から私が働いている「図書館」と、それを支える私たち「司書」について書いてみたいと思います。

みなさまは図書館を利用したことがありますか？

図書館や司書はみなさまにとって身近で便利な存在なのですが、実際のところあまり知られていないように感じます。この記事を読んで少しでも図書館に興味を持ってもらったり、行ってみようかな、という気分になっていただければ幸いです。

基本的な役割として、図書館はあなたの「知りたい！」に応えます。「テレビで見たあの料理のレシピが知りたい！」「最近話題のドローンってどうやって飛ばせるのか知りたい！」などの幅広いニーズに、主に図書資料でお助けします。自分で探して読むこともできますし、司書にお尋ねいただければサポートいたします。

私が図書館を特におすすめしたいのが、小学生や中学生のみなさま。先生や親、友だちに聞けない、教えてくれないことを本が教えてくれることがあります。インターネットでも便利ですが、ぜひ図書館で調べることが覚えておいてください。いつかあなたの役に立つかもしれません。

そして、図書館で働く私たち司書は「図書館情報学」という図書館資料や情報を扱う分野の専門職です。あなたの「知りたい！」に応えるため、資料を集めて利用しやすいように並べたり、いつでも使えるように保管したり、必要とする利用者さんに提供したりしています。ほかにも資料の中立性を保ったり利用者との秘密を守ったり…といった、表には見えないことを日々試行錯誤しながら行っています（「司書って誰にでもできるでしょ？」と言われるがちです…）が、すべて書き出すとここだけでは足りなくなるので割愛します。ぜひご紹介したいのです

が…  
それもこれも、あなたの「知りたい！」を助けるため。正しく「知る」ということは、複雑な世の中と戦うための剣でもあり、様々な悪意や害から身を守るための盾でもあります。あなたの「知りたい！」は、あなたが強くなるための第一歩です。ぜひ図書館でたくさん武器を手に入れてください。

ですが、難しく考えず「漫画とかもあるらしいし、見てみるか」くらいの気持ちで構いません。図書館と司書はあなたをお待ちしています。



※撮影のためにマスクを外しています。

## 寄付行為の禁止

議員は、選挙の有無にかかわらず、選挙区内の人に金や物を贈ることは、法律で禁止されています。また、有権者が求めてもいません。ご理解お願いいたします。

- |           |      |      |
|-----------|------|------|
| 発行責任者     | 議長   | 松井広道 |
| 広報広聴常任委員会 | 委員長  | 松井洋和 |
| 委員        | 副委員長 | 松井俊治 |
| 委員        | 委員   | 吉田保博 |
| 委員        | 委員   | 佐藤吉人 |



間伐と間伐材の有効利用を促進して健全な森づくりに貢献します。